

日衛連NEWS

Japan
Hygiene Products
Industry Association

発行 / (一社) 日本衛生材料工業連合会

黄砂対策には、マスク着用!

大量の黄砂が予想されています。黄砂は目やノドを刺激し、健康に悪影響を与える可能性があります。そこで、外出時はメガネやマスクの着用を強くお勧めします。マスクは、微粒子を防ぐことができ、健康を守るために必要なアイテムです。しっかりとマスクを着用して、健康に配慮した行動を心がけましょう。

外出時には、まずマスク。

■ マスクは、微粒子捕集性能を有しています。
微粒子の黄砂は、マスクのフィルタ機能で捕集することができます。

■ 微粒子捕集性能の確認方法
微粒子捕集性能は、略称でPFE、と記載されます。

(1) マスクにJIS適合表示がある場合:
PFE(微粒子捕集効率)に ○ が表示されています。

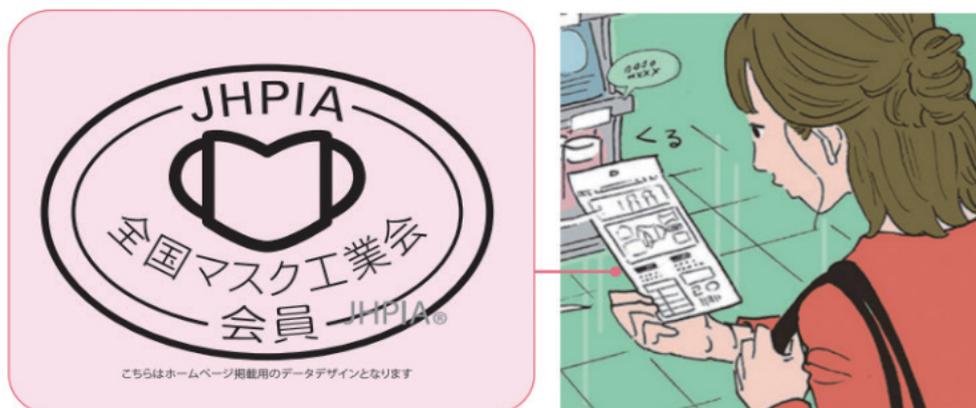
一般用マスクの場合 (医療用マスクも同様です。)

日本産業規格 JIS T 9001 一般用マスク 規格適合番号 G					
試験項目 規格値	PFE ≥95%	BFE ≥95%	VFE ≥95%	花粉 ≥95%	安全衛生 ・通気性
適合判定 実測平均値	○				

(2) マスクにJIS適合表示がなく、全国マスク工業会会員マークがある場合
パッケージのいずれかの場所に、PFE(微粒子捕集効率)の記載があれば、性能がある、と判断できます。

■簡単に品質をチェックできる基準は、このマーク

肌に触れるものだから、機能だけでなく品質にもこだわりを。全国マスク工業会・会員マークのある製品は、品質や製造管理など安心の商品基準で作られています。マークはパッケージに表示されているのでご確認ください。



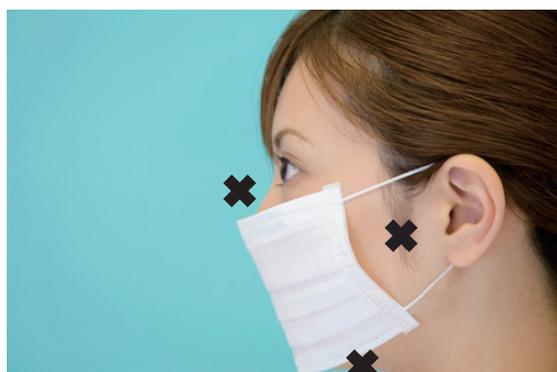
(3) マスクにJIS適合表示や全国マスク工業会会員マークがない場合。

パッケージにPFE(微粒子捕集効率)の記載があることを確認してください。

■黄砂対策には、隙間の無いつけ方がベスト

鼻から顎までしっかりと覆うようにつけましょう。

隙間が空いているとそこから飛沫やエアロゾル、花粉、黄砂が入り込みやすくなります。



ワイヤーがついているマスクはきちんと鼻に沿わせてつける。そして頬の横に隙間が無いことを確認!

